

“日本一”明るい経済新聞

ビジネス・サクセス・ジャーナル BSJ



世界初！バーチャルハンドル

国内外のベンチャー企業と連携



ユニオン（☎06・6532・3188）は、2025年大阪・関西万博で世界初のバーチャル（仮想）ハンドルを展示。国内外のベンチャー企業と連携し、最先端技術を活用して触れた感覚を再現、バイタルセンシングで健康管理、感染対策にもつながる未来のドアを世界へアピールする。

大阪市西区南堀江に本社を置く。住宅を除くドアハンドルでは国内で8割以上のシェアを誇るハンドルメーカー。1970年大阪万博では、各パビリオン向けのハンドルを供給し、万博から大躍進した。

触れた感覚を再現

データサイエンス技術を活用し、仮想ハンドルでのドア開閉を世界で初めて成功した。

バイタルセンシングで仮想ハンドルを握った人の血圧、心拍、呼吸なども計測、非接触で日常の健康管理を実現する。万博会場大阪ヘルスケアパビリオンで来年5月20日から26日に展示する予定。

来場者1人が約3分で仮想ハンドルを回して、ゲーム感覚で扉を開ける体験ができる。また、体験者の動きを点群データ化した演出も検討している。

「自動ドアが普及していますが、人が主体ではありません。人間主体のドアでありながら非接触ドアを目指しています」（宮本尚幸・開発デザイン室長、田河寿一・大阪支店営業部技術開発課ディレクター）と説明。すでに技術開発のメドをつけ、10年後の実用化を目指し、昨年には特許を出願した。

世界トップレベルの裸眼3Dディスプレイを応用して、空間にハンドルを浮き出す。さらに世界的ベンチャー、ウルトラリープ社の超音波による触覚再現技術、国内ベンチャーのTengun-label社のAI・3D

バイタルセンシングで健康管理



従業員は約30人で年商は約4億円。「仕事をし過ぎて身体を壊しました。それを機に仕事のやり方を変える働き方改革に挑戦、鶴見区でトップ企業を目指しています」と安田勝則社長。営業

7年前から始まった、月末金曜日を早帰りするプレミアムフライデーは今も続ける。「取引先からはずっとやっているのだから納得してもらっています」と。1日の労働時間削減にも取り組む。8時間労働

労働時間を減らす！元気企業



関西機器製作所（☎06・6961・7637）

は、働く時間を減らし、利益を増やす元気企業。プレミアムフライデーを今も続けるほか、昨年1日の労働時間を7時間半に削減、営業ゼロ、残業ゼロでも利益率はアップ、全社員が経営者目線で仕事に取り組む。

創業73年目。大阪市鶴見区今津南2丁目に本社工場を持つ。コンクリートの強度測定など、各種試験機の設計制作を行う。

営業・残業ゼロで利益率はUP



関西機器製作所

「利益率は逆に3ポイントアップしています」と喜ぶ。

どうすれば早く帰れるか？全社一丸でムダを省き効率化を考える。社内の内製化、デジタル化、付加価値の高いオンライン製品の開発を進める。ホームページの担当を2人にし、

常に更新して顧客を誘う。ホワイト企業認定、ISO9001、JCSSなどの資格取得は自前で挑戦する。

「残業しなくても既婚者には年収500万円以上を支給しています。小さくても良い会社になりたい」と話している。

1日7時間半を達成

万博出展！中小企業441社に

2025年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンで、週替わりのゾーン「リボンチャレンジ」に出展する企業が決定した。当初の37社からさらに増え441社となり、

大阪の中小企業、スタートアップが未来の技術やワクワク、オモロい暮らしを提案する。

リボンチャレンジは、公益社団法人大阪産業局・大阪商工会議所共同設置の中小・スタートアップ出展企画推進委員会が企画、運営する。万博会期中、26の企画が毎週入れ替わる形で展示される。

10月2日に開催された出展企業発表会・展示企画発表会では、大阪商工会議所、大阪産業局や地銀など展示企画者や出展企業が参加。「おもしろい企画がたくさん集まった。大成功に向かって頑張ろう」と、立野純



大阪ヘルスケアパビリオン

2025年大阪・関西万博

三・同出展企画推進委員長（大商副会頭）が力強くあいさつ。吉村洋文・大阪府知事も「万博で未来へワクワクする明るい大阪をつくりたい」とビデオメッセージが披露された。

この後、公式キャラクターのミyakミyakが登場して、出展企業と関係者が集まって写真撮影、会場内を盛り上げた。続いて、リボンチャレンジ実施主体の担当者が、26の展示企画内容を分かりやすく説明。会場内には一部出展企業の展示ブースも設けられ、早くも万博ムードが高まっていた。

中小企業、スタートアップ出そろ

竹原編集長がリポートするNHKおはよう関西「元気な中小企業コーナー」
9月13日は「元気な中小企業～町工場がアップサイクに挑戦～」をテーマに大阪市内の町工場を取り上げました。2年前から工場から排出する金属の端材を活かした事業を始めました。オシャレな雑貨を商品化、自社ブランドで売り出し人気です。

日本一明るい！経済電波新聞
MBSラジオ 毎日 曜日 AM1179 / FM90.6 10:30~11:00
8/25 & 9/1 放送分
澤 芳樹さん
（一財）未来医療推進機構理事長
大阪警察病院院長
大阪大学大学院医学系研究科特任教授
未来医療の形が大阪・中之島に
8月25日と9月1日は、一般財団法人未来医療推進機構の澤芳樹理事長が登場。世界をリードするiPS細胞の再生医療拠点で未来医療の「中之島クロス」を運営。大手企業、病院、研究機関に加え中小企業のモノづくりも活かしたいと話していただきました。

9/8 & 9/15 放送分
マーケティング営業部 久我幸弘さん
株式会社北尾化粧品部
MADE in JAPAN が来る日本発の化粧品は世界へ
9月8日と15日は北尾化粧品マーケティング営業部の久我幸弘さんにお越しいただきました。ルーツは北尾財閥です。即固まるネイル商品、宇治の抹茶を使ったローションなどもあります。海外市場でも注目されていました。

